

ゼスプリ生産者はゴールドキウイの北半球での拡大を「圧倒的に」支持

[FreshFruitPortal](#) 2024年12月10日

ニュージーランドのキウイフルーツ生産者は、ゼスプリ世界供給計画(ZGS)の拡大を圧倒的に支持し、イタリア、フランス、日本、韓国、ギリシャで今後6年間、毎年最大420ヘクタールのゼスプリ™・サンゴールド™・キウイフルーツを追加で割り当てることを支持したと、同社はリリースで発表した。

生産者投票の結果は、今回生産者が支持した決議案を策定するためのゼスプリと業界の間での長期間にわたる議論を受けたものであり、これにより、競争の激化とこの分野の活発化が進む中で、ゼスプリが需要予測に沿って供給量を増やすことが可能となる。

ゼスプリのジェイソン・テ・ブレイクCEOは、この結果について次のようにコメントしている。

「我々をここまで導いてきた過程と今回の投票の結果は、生産者に十分な収益を提供するとともにこの競争の激しい分野でゼスプリのリーダーとしての地位を維持することに焦点を当てつつ、差し迫った問題に団結して取り組む我々の業界の能力を反映している。」

「ゼスプリ・キウイフルーツの見通しは明るい。私は2024年に取引先とともに多くの時間を市場で過ごしたが、彼らは我々の果実をもっと多く、そして一年中欲しがっている。この投票の結果は、主要市場の主な取引先への周年供給に向けて引き続き取り組み、より多くの需要を満たし、将来に向けてニュージーランドの生産者の収益確保を支援する上で極めて重要である。」

キウイフルーツ輸出規則の下では、生産者投票は、投票者の少なくとも75%の支持(投票者数及び出荷量割合による)を得る必要がある。この決議は、投票した生産者の90.6%、出荷量割合で93.29%が支持した。

「生産者投票が成功するための基準が高いため、最終的な集計結果はZGSに対する生産者の支持の強さを示す心強い兆候である。投票率は事業体数で約72%、出荷量で約85%に達しており、このプロセスに生産者がいかに関与しているかを示している。」

この結果は、ゼスプリにとって好調なシーズンの終盤に向かう中で発表された。今シーズンは、史上最高の1億9千万箱の収穫物が出荷され、11月の園地渡しの収益(OGR)が8月の予測と比較してほぼすべての品目で増加した。グリーンキウイと有機グリーンキウイのヘクタール当たりの予測収益は、収穫量の向上と力強い市場価値の維持を背景に、史上最高の水準にある。

サンゴールドの追加の栽培面積の割り当てと植栽は、2025年初頭に開始される。

決議	投票者数	出荷量割合
生産者は、予測される需要が供給量を上回ることをゼスプリの理事会が毎年確認し、生産者に毎年報告することを条件に、イタリア、フランス、日本、韓国及びギリシャの合計で、今後6年間にわたり、サンゴールドキウイフルーツの栽培面積を毎年最大420ヘクタール追加で割り当てることを支持する。	賛成 90.6% (1,803票)	賛成 93.29%
	反対 9.40% (187票)	反対 6.71%
投票率	72.21%	84.36%

出典: ゼスプリ